

ヒヤリハット事例集 あなたも経験ありませんか？

油圧ショベルの運転台の取手を掴んだところ、手が滑りキャタピラーから転落しそうになった

業種

建設業

作業の種類

油圧ショベルへの乗車

ヒヤリ・ハットの状況

ビル解体工事現場にて、油圧ショベルに乗り込むためキャタピラーに上り、運転台の取手を手で掴んだところ、直前の給油作業により手袋に重油が付着していたため、手を滑らせキャタピラーから転落しそうになった。

原因

慣れた動作だったこともあり、手袋に重油が付着していたことに注意を払わず運転台の取手を掴んだこと。

対策

給油作業で使用した手袋を、次の作業で引き続いて使用しないこと。また、昇降の際は、両手両足の4箇所のうち、1箇所だけを動かして安全を確保し、「三点確保（三点支持）」の基本的な動作を守ること。

ハイリッヒの法則



ヒヤリハットの300件目は重大事故に繋がります。

ビル住宅内装ボード張り作業中、脚立から落ちそうになった

業種

職別工事業 内装工事業

作業の種類

新築住宅のボード張り作業

ヒヤリ・ハットの状況

新築住宅のボード張り作業を手すりなし2連式脚立上でボード(0.80m×1.8m 約20kg)を持ち上げ壁張り中ふらついて足元がずれ足場から落ちそうになった。なお、作業者は連日の残業であった。

原因

- 高さ1.2m長さ1.8m巾40cmの2連式脚立足場が安全な手すり付の脚立足場でなかった。
- 残業が続き当日も午後7時頃の作業で疲れが蓄積するとともに、集中力が低下していた。

対策

- 高さ2m未満の高所作業でも墜落災害は大きな怪我につながるため、手すり付き脚立を使用するか、もう少し広い作業台を準備して作業する。
- 必要により安全帯を使用する。
- 作業心得、作業手順を作成してその安全作業の徹底を図る。



作業手順を守って作業！

足場の組立工事で足場上を歩行中、足場板のツメが破損して板が傾き、バランスを崩して転落しそうになった

業種

鉄骨・鉄筋コンクリート造家屋建築工事業

作業の種類

足場（建築工事）

ヒヤリ・ハットの状況

建築工事の現場で足場組立工事をしていて高さ5mの足場上を歩行中、突然足場板のツメがちぎれて乗っていた足場板が傾き、バランスを崩して転落しそうになった。幸い安全帯を着用していたので5m下には墜落せず、右ひざの軽い擦り傷ですんだ。

原因

足場板の事前の点検が不十分で、ツメ取付け部の劣化に気づけなかったこと。

対策

目視でいいので足場板の事前点検を必ず行うこと。



毎日の作業前始業点検は確実に！

キャビネットに並べてある資料をとろうとしたところ、転落しそうになった

業種

小売業

作業の種類

事務作業

ヒヤリ・ハットの状況

事務所において、高さ2.5mほどのキャビネットに並べてある資料をとろうと、キャスター付の椅子の上に乗ったところ、椅子が動いてバランスを崩し、転落しそうになった。

原因

手が届かない高さのキャビネットから資料をとる際、キャスター付の椅子を踏み台代わりに使用したこと。

対策

キャビネットの高い位置にある資料・書籍等をとろうとするときは、椅子を踏み台代わりに使用せず、踏み台、又は開き止め金具をしっかり架けた脚立等を使用すること。また、キャビネットは壁にしっかり固定すること。



不安全行動を撲滅しよう！